



江田島市教育委員会事務点検・評価報告書

（平成27年度事業対象）

平成28年6月
江田島市教育委員会

目 次

1	教育委員会の点検・評価制度の概要	1
2	点検・評価の結果（8事業）	
	・教職員の服務規律の厳正確保を図る	2
	・児童生徒の学力の向上を図る	4
	・児童生徒の豊かな心を育成する	5
	・児童生徒の体力の向上を図る	6
	・公民館講座等の充実を図る	7
	・市美術展の充実を図る	8
	・歴史資料館の活性化を図る	9
	・図書館の充実を図る	10
3	外部評価委員の意見	11
4	その他	14
資料1	平成27年度江田島市教育委員会 経営計画	17
資料2	平成27年度江田島市教育委員会 自己評価表	19

1 教育委員会の点検・評価制度の概要

(1) 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、平成20年4月から教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することを義務付けられました。

この報告書は、同法の規定に基づき、江田島市教育委員会が行った点検・評価の結果をまとめたものです。

なお、同法の規定の「教育に関し学識経験を有する者」については、本市では、外部評価委員（3名）とし、教育委員会自らが行った点検・評価の結果に対して、意見をいただきました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検・評価の対象年度

平成27年度

(3) 点検・評価の対象事業

教育委員会は、平成26年度末の現状を分析した上で、特に重点を置いて取り組みたい8事業を定め、平成27年度江田島市教育委員会経営計画としてまとめました。

平成27年度に実施したこれら8事業の取組を点検・評価の対象とします。

2 点検・評価の結果（8事業）

平成27年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	教職員の服務規律の厳正確保を図る。
短期経営目標	教職員による不祥事を0（ゼロ）にする。

1 短期経営目標（具体）

平成27年度の懲戒処分件数を0件にする。

2 取組・方策

<p>○すべての主催研修において、「服務規律の確保」に関する内容の講話等を行った。 （実施した30回の詳細については、別紙のとおり）</p> <p>○5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・以下の3点について取り組み、実施率は100%であった。 <ol style="list-style-type: none">①管理職は、自己申告（当初申告）の面談時に不祥事根絶に係る指導を行う。②服務研修（校内研修）において、過去に江田島市で生じた懲戒処分事案を扱う。③不祥事根絶に係るのぼり旗を学校教育機関の玄関付近に掲げる。 <p>○全児童生徒に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none">・各学校の実施率は100%で、体罰、セクシュアル・ハラスメントに該当する回答はなかった。
--

3 評価

評価指標	懲戒処分件数
実績値（平成26年度）	0件
目標値（平成27年度）	0件
総合評価	0件
○取組・方策を計画的に実施でき、目標を達成することができた。	

4 改善策

○なし

平成27年度江田島市教育委員会主催研修における服務研修一覧

月	日	曜日	研修名	内 容
4	3	金	第1回教務主任研修	不祥事根絶のための取組について
			第1回特別支援教育コーディネータ等研修	体罰の防止について
	7	火	校長会	服務規律の確保について
	14	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
5	7	木	第1回初任者研修	教職員の服務について
	11	月	校長会	服務規律の確保について
	26	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
6	3	水	校長会	服務規律の確保について
	10	水	生徒指導主事研修	体罰、セクシュアル・ハラスメントについて
7	2	木	校長会	服務規律の確保について
	7	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
	21	火	食育推進リーダー研修	食物アレルギー事例における対応について
			保健主事研修	施設・設備の安全管理について
	22	水	第2回教務主任研修	文書の取扱いについて
研究主任研修			文書の取扱いについて	
8	3	月	第2回特別支援教育コーディネータ等研修	教育課程の編成について
	7	金	進路指導主事等研修	個人情報の管理について
	27	木	第2回初任者研修	旅行命令簿について、個人情報保護について
9	3	木	校長会	服務規律の確保について
	15	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
10	6	火	校長会	服務規律の確保について
	13	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
11	5	木	校長会	服務規律の確保について
12	2	水	校長会	服務規律の確保について
	8	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
1	8	金	校長会	服務規律の確保について
2	2	火	校長会	服務規律の確保について
	16	火	教頭・事務長会	服務規律の確保について
	17	水	第3回教務主任研修	不祥事根絶のための取組について
3	2	水	校長会	服務規律の確保について

平成27年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	児童生徒の学力の向上を図る。
短期経営目標	基礎的・基本的な知識・技能を定着させ、思考力・判断力・表現力を向上させる。

1 短期経営目標（具体）

広島県「基礎・基本」定着状況調査において、全ての教科で県の平均通過率を5ポイント以上上回る。

2 取組・方策

- 学校訪問時に「学力向上チェックリスト」を基に、取組状況について指導助言を行った。
- 学力調査（全国学力・学習状況調査、広島県「基礎・基本」定着状況調査）の結果の分析を行い、ホームページ及び広報（10月）で公表した。
- 学力向上に係る研修を実施した。
 - ・学力向上に関する講義・演習
 - 【第1回教務主任研修（4月3日）】
 - 【第3回教務主任研修（2月17日）】
 - ・広島版「学びの変革」アクション・プランに係る講義・演習
 - 【生徒指導主事研修（6月10日）】
 - 【第2回教務主任研修，研究主任研修（7月22日）】
 - 【進路指導主事等研修（8月7日）】
 - 【第3回教務主任研修（2月17日）】
- 先進校（横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校，横浜市立大岡小学校）を各小中学校の教諭1名が視察した（10月22日，23日）。報告書を作成し，各学校で活用した。
- 平成27年度広島県学力調査報告書を用いて，校長会，教頭・事務長会及び教務主任研修で授業改善の指導を行った。

3 評価

評価指標	広島県「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率																													
実績値（平成26年度）	小学校5年生 国語 +6.3，算数 +6.8，理科 +5.2 中学校2年生 国語 +2.3，数学 +4.3，理科▲0.3，英語▲0.7																													
目標値（平成27年度）	全ての教科で県平均通過率を5ポイント以上上回る。																													
総合評価	平成27年度広島県「基礎・基本」定着状況調査結果																													
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> </tr> <tr> <th>江田島市</th> <th>広島県</th> <th>江田島市</th> <th>広島県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>76.8 (+2.1)</td> <td>74.7</td> <td>72.2 (▲1.4)</td> <td>73.6</td> </tr> <tr> <td>算数・数学</td> <td>73.2 (+1.6)</td> <td>71.6</td> <td>70.9 (+0.5)</td> <td>70.4</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>66.2 (+0.9)</td> <td>65.3</td> <td>48.7 (▲1.5)</td> <td>50.2</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td></td> <td></td> <td>66.4 (▲1.8)</td> <td>68.2</td> </tr> </tbody> </table>		小学校		中学校		江田島市	広島県	江田島市	広島県	国語	76.8 (+2.1)	74.7	72.2 (▲1.4)	73.6	算数・数学	73.2 (+1.6)	71.6	70.9 (+0.5)	70.4	理科	66.2 (+0.9)	65.3	48.7 (▲1.5)	50.2	英語			66.4 (▲1.8)	68.2
			小学校		中学校																									
		江田島市	広島県	江田島市	広島県																									
	国語	76.8 (+2.1)	74.7	72.2 (▲1.4)	73.6																									
	算数・数学	73.2 (+1.6)	71.6	70.9 (+0.5)	70.4																									
理科	66.2 (+0.9)	65.3	48.7 (▲1.5)	50.2																										
英語			66.4 (▲1.8)	68.2																										
※（ ）内は，県平均通過率との差																														
○小学校及び中学校ともに全ての教科で目標を達成することができなかった。																														
○特に中学校については，国語，理科，英語において県平均通過率を下回る結果となった。																														

4 改善策

- 「学びの変革」推進協議会を設置し，「学びの変革」パイロット校及び実践指定校の取組を充実させるとともに，市内小中学校への普及を図る。
- 小中学校各1校をICT活用の指定校とし，児童生徒の学習意欲及び学力の向上を図る。
- 市町の挑戦加配として，ICT活用教員及び中学校英語科教員を配置する。

平成27年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	児童生徒の豊かな心を育成する。
短期経営目標	① 暴力行為の発生件数を減少させる。 ② 自己効力感を向上させる。

1 短期経営目標（具体）

① 中学校における暴力行為の1000人あたりの発生件数を16.0件とする。
② 意識調査「自分にはよいところがあります」の問いに対する肯定的回答の割合を小学校5年生で88%、中学校2年生で74%にする。

2 取組・方策

<p>○校長会、教頭・事務長会で、問題行動等生徒指導上の諸問題（特に暴力行為件数）の発生状況を示すとともに、未然防止の取組について指導した。</p> <p>○生徒指導主事研修（6月10日）で、生徒指導の三機能を生かした教育活動の推進について講義・演習を行った。</p> <p>○9月を「いじめ撲滅月間」とし、重点的な取組を行った。</p> <p>①いじめ撲滅に向けた児童会・生徒会を中心とした児童生徒の主体的な活動を実施した。</p> <p>②平成27年8月10日付け江田島市教育委員会教育長通知「いじめ防止対策推進法に基づく組織的な対応及び児童生徒の自殺予防について」に基づき、次の2つを実施した。</p> <p>ア「学校いじめ防止基本方針」及び「いじめ防止委員会等設置要綱」のホームページ掲載</p> <p>イ「生徒指導資料No.28（改訂版）いじめの問題への取組の徹底のために」（広島県教育委員会発行）及び「生徒指導支援資料5『いじめに備える』」等を活用した校内研修の実施</p> <p>③いじめ相談窓口を学校便り等で周知し、ホームページに掲載した。</p> <p>④江田島市PTA連合会が作成するネット利用に関するリーフレット及びカードを配布し、家庭におけるスマートフォン等使用のルール作りを呼びかけた。</p> <p>⑤学校便り等で、「いじめ撲滅月間」の取組の紹介をした。</p> <p>○全児童生徒に「いじめ」のアンケートを実施した。</p> <p>・各学校の実施率は100%で、認知したいじめについて児童生徒及び保護者への対応を行った。</p> <p>○教職員による生徒指導自主研究グループを組織し、研究成果を各学校へ普及した。</p> <p>○市町の挑戦加配を活用し、道徳教育（道徳の時間）の充実を図った。</p> <p>○市道徳教育推進協議会を5回実施（6月4日、8月5日、9月24日、10月8日、2月25日）し、道徳教育推進教師に対して、各学校における道徳教育充実のための指導を行った。</p> <p>○ふるさと実感事業実施計画書に基づき補助金を交付し、各学校が取組を進めた。</p>
--

3 評価

評価指標	① 暴力行為の1000人あたりの発生件数（中学校） ② 意識調査「自分にはよいところがあります」の肯定的回答割合
実績値（平成26年度）	① 23.9件 ② 小5：83.6%、中2：68.6%
目標値（平成27年度）	① 16.0件 ② 小5：88%、中2：74%
総合評価	① 15.4件（暴力行為：7件（生徒間暴力）） ② 小5：79.8%、中2：77.1% （ふるさと実感事業後のアンケート調査【平成28年2月実施】）
① 目標値内であった。	
② 中学校では目標を上回ったが、小学校では目標値を下回った。	

4 改善策

○生徒指導自主研究グループで積極的生徒指導についてさらに研究し、その成果を普及する。
○平成28年「春のあんしんネット・新学期一斉行動」を中心に、全校で外部人材を活用して児童生徒を対象とした情報モラルに関するネットトラブル講演会を実施する。

平成27年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	児童生徒の体力の向上を図る。
短期経営目標	体力・運動能力を向上させる。

1 短期経営目標（具体）

体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数割合を70.0%にする。

2 取組・方策

○県教育委員会の主催する小・中学校体力づくり推進リーダー等研修会において、市教育委員会が江田島市の体力向上の現状と課題及び授業改善について講義を行った。

○小学校に対して、1校1競技について指導し、各校において取組を実施した。

学校名	内容
切串小学校	投力（ドッジボール）
江田島小学校	瞬発力・走力・持久力（陸上競技）
中町小学校	走力・持久力（陸上競技）
鹿川小学校	全身運動（ビーチボールバレー）
三高小学校	投力（2人1ボール）
大古小学校	投力（ドッジボール）
柿浦小学校	平衡感覚（一輪車）

○中学校に対して、補助金事業で公式大会以外の練習試合についても補助した。（中学校体育連盟主催の大会について、平成26年度から安芸郡と合同で開催している。）

○体力・運動能力調査において優秀な成績をおさめた児童生徒を市教育委員会と江田島市体力向上推進協議会が表彰した。

○体力・運動能力調査の結果をホームページ及び広報（1月）で公表した。

○県立広島大学地域戦略協働プロジェクトを活用し、体力・運動能力の経年変化について分析を行った。

3 評価

評価指標	体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数割合
実績値（平成26年度）	67.3%
目標値（平成27年度）	70.0%
総合評価	75.7%
○目標を達成することができた。	

4 改善策

○県立広島大学地域戦略協働プロジェクトにおける報告書を基にして、体力づくり推進リーダー等を対象とした研修を実施する。

平成27年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	公民館講座等の充実を図る。
短期経営目標	公民館講座の若年層の利用者数割合の増加を図る。

1 短期経営目標（具体）

公民館講座の若年層（50歳未満）の利用者数割合の増加を図る。（目標：48.0%）

2 取組・方策

- すべての講座でアンケートを実施した。
- 若年層ニーズにあった講座等を実施した。

若年層（50歳未満）対象講座（全74講座から抜粋）

講座名	実施日	場所	種別	実績(人)	若年層参加率
夏休み親子料理教室	8/11	江田島公民館	継続	10	100%
マカロン作り教室	10/20	江田島公民館	新規	6	50%
手作りパン教室	6/21	切串公民館	新規	18	61%
さわやか健康料理教室	7/18	中町公民館	継続	10	20%
あなたにも出来るHIP・HOPダンス	8/8	中町公民館	新規	10	100%
お正月しめ縄作り教室	12/24	中町公民館	継続	13	92%
子どもカヌー教室	7/25・9/19	沖美公民館	新規	5・14	100%
子ども料理教室	1/30	沖美公民館	新規	12	100%
読み聞かせと工作胸かざり	4/11	大柿公民館	新規	14	100%
読み聞かせと夏のモバイル作り	7/11	大柿公民館	新規	10	100%
アイシングクッキー	12/13	大柿公民館	新規	20	100%

- 毎月「広報えたじま」の行事案内欄に講座案内を掲載し、周知を図った。
- 公民館まつり（3月）において講座等のPRを行った。

3 評価

評価指標	若年層利用者数割合
実績値（平成26年度）	43.7%
目標値（平成27年度）	48.0%
総合評価	44.0% (内訳：江田島公民館 48.9%，中町公民館 20.9%，沖美公民館 66.2%，大柿公民館 42.1%)

- 目標の48.0%に対し実績は44.0%で、目標を達成できていない。

4 改善策

- 各公民館の連携強化による情報共有を図り、若年層ニーズにあった講座を企画する。
- 広報のPR回数を増やす。
- 市PTA連合会に講座を周知し、参加を呼びかける。

平成27年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	市美術展の充実を図る。
短期経営目標	市美術展の来場者数の増加を図る。

1 短期経営目標（具体）

市美術展の来場者数の増加を図る。（目標：780人）

2 取組・方策

○10月31日（土）～11月3日（祝・火）の実施に向けて、実行委員会において開催内容を検討するとともに、市文化協会との同時開催に向けた協議を進め、次とおり開催した。

- ・市文化協会作品発表会と同時に開催し、スタンプラリー等を協力して行った。
- ・ミニコンサートを実施した。

10/31（土）「ヴァイオリン-山本麻里 & ピアノ-松崎由起」

11/ 1（日）「フルート-目良直子 & ピアノ-小蔦寛二」

- ・審査員作品の特別展示を実施した。
- ・学校見学会を実施し、実行委員による児童への作品解説を行った。（11/2（月）3校参加）
- ・巡回展を実施した。（江田島支所：11/9（月）・10（火））
- ・近隣施設「大柿地区歴史資料館・江田島市灘尾記念文庫」において、「六角紫水講座」を同時開催した。

○広報等でPRし、周知を図った。

広報紙、ホームページ、フェイスブック、ポスター、チラシの新聞折り込みなどで周知した。

3 評価

評価指標	来場者数
実績値（平成26年度）	759人
目標値（平成27年度）	780人
総合評価	945人

○目標値を達成した。

来場者数 945人

（内訳）平成27年10月31日（土） 334人

11月 1日（日） 299人

11月 2日（月） 103人

11月 3日（祝・火） 209人

4 改善策

○なし

平成27年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	歴史資料館の活性化を図る。
短期経営目標	学びの館，大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の来場者数の増加を図る。

1 短期経営目標（具体）

学びの館，大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の来場者数の増加を図る。

目標	学びの館	7,100人
	大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）	650人

2 取組・方策

○ものづくり教室の充実を図った。

平成26年度：6回実施

学びの館ものづくり教室（平成27年度実績）

平成27年度：9回実施

教室名	実施日	参加者数
和紙ちぎり絵教室	6/20, 27	各7
丹後ちりめんはり絵教室	9/5, 6	各9
煎茶体験	10/25	65
クリスマスアレンジメント	11/29	14
万華鏡	1/31	9
消しゴムはんこ作り	2/20	7
オリジナルキャンドル作り	2/27	19
蝋燭クレヨン作り	3/6	11
ふれあい陶芸教室	3/13	18

○展示資料の相互貸出を実施した。

市美展期間中に，学びの館展示資料を大柿地区歴史資料館に展示した。

期間：平成27年10月31日（土）

～11月3日（祝・火）

○大柿地区歴史資料館において，「六角紫水講座」を実施した。

日時：11月3日（祝・火）11：00～12：00 講師：広島県立美術館学芸員

○学びの館の「ものづくり教室」を広報等でPRし，周知を図った。

3 評価

評価指標	来場者数
実績値（平成26年度）	学びの館：6,874人，大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）：625人
目標値（平成27年度）	学びの館：7,100人，大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）：650人
総合評価	学びの館 8,486人 大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）692人

○両館とも目標値を達成した。

学びの館 8,486人

大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）692人

4 改善策

○なし

平成27年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	図書館の充実を図る。
短期経営目標	図書館年間貸出冊数の増加を図る。

1 短期経営目標（具体）

図書館年間貸出冊数の増加を図る。（目標：108,000冊）

2 取組・方策

- 2館1室合同の「本でめぐる 江田島しましまスタンプラリー」を7月10日～9月30日まで実施した。
- ミニ図書館の開催場所を変更した。
毎月の「広報えたじま」の図書館だより欄に、ミニ図書館（移動図書館）の開催日時欄を設け、周知を図った。
- 図書館だよりを市内各小中学校、保育園、公民館、港ターミナル、子育て支援センター等に配布し、周知を図った。
- 各館（室）に他館（室）のおすすめの本展示コーナーを設け利用促進を図った。
- 行事案内を市内各小中学校、保育園、子育て支援センターへ配布または掲示し、周知を図った。
- 子ども読書活動推進計画に基づき、江田島図書館と能美図書館において、読み聞かせなどをテーマとした講座（親の力を学びあう学習プログラム）を実施した。
- 希望者に読書預金通帳を配布した。（配布実績：243冊）

ミニ図書館の実績（4月～3月末）※月2回

場 所	利用人数	利用冊数
津久茂児童館 (4・5月のみ1回)	85	344
切串公民館 (4・5月のみ1回)	303	1,452
三高会館	240	764
市民サービスセンター	117	199
大君自治会館	21	84

3 評価

評価指標	年間貸出冊数
実績値（平成26年度）	105,629冊
目標値（平成27年度）	108,000冊
総合評価	110,572冊
○貸出冊数：110,572冊	
○目標値を達成した。	

4 改善策

○なし

3 外部評価委員の意見

外部評価委員名簿

	氏名	備考
委員長	田丸 正実	学校関係者 (元鹿川小学校校長)
副委員長	藤本 真砂子	社会教育関係者 (社会教育委員)
委員	平根 眞澄	市関係者 (元江田島市教育委員会教育 総務課長)

(1) 教職員の服務規律の厳正確保を図る

昨年度に引き続き、不祥事が「ゼロ」であったことは高く評価したい。教職員一人一人に対して服務規律の徹底が図られた結果である。とりわけ教育委員会の指導が年間計画に位置付けられ、校長会、教頭・事務長会を始め各種の研修会等において実施されたことが大である。さらには、各学校においても継続した研修が行われ、教職員自身が服務に対する理解と自覚が高まっているものと推測できる。今後も「ゼロ」を目指した取組をお願いしたい。

(2) 児童生徒の学力の向上を図る

短期経営目標の平均通過率を見てみると、高い目標数値（各教科5ポイント以上）を設定している。小中学校とも結果として到達できなかった。しかし、県平均と比較するとポイント数は上回っているか、それに近い通過率になっている。結果の分析を各校で行い、日々取り組まれていることと思う。常に高い目標を設定してのチャレンジは評価したい。年度によって通過率の変動はあるものの着実に学力向上を目指した取組がなされている。次年度への改善策がさらなる学力向上へ繋がることを期待したい。

(3) 児童生徒の豊かな心を育成する

道徳教育推進教師の年5回の研修や生徒指導主事研修、自主研究グループ等、

児童生徒の豊かな心の育成に繋がる取組が行われている。その結果、暴力行為の件数も年々減少している。また、「いじめ撲滅」に向けた様々な取組がなされ、成果も現れている。今後は、未然防止のための積極的生徒指導をさらに期待したい。

(4) 児童生徒の体力の向上を図る

体力づくり推進リーダー等研修会や授業改善等の実施がなされている。また、小学校での1校1競技の取組により、体力・運動能力の全国平均以上の割合が向上してきている。また、各校での体力向上へ向けた環境整備も整ってきていることにも要因していると思われる。継続した取組をお願いしたい。

中学校での公式大会以外の練習試合へもバス代等の補助をしていることは大変良いことである。教育委員会の予算措置も配慮されており、今後も継続されることを要望する。

(5) 公民館講座等の充実を図る

公民館講座の若年層の参加率を増やす取組の結果、目標は達成できていないが、昨年度と比較すると参加率は高くなっている。対象講座を若年層にあった講座の設定や季節に合わせた内容等、工夫の跡がうかがえる。

さらに、参加者一人一人からの声を聞くためにアンケートの実施は有効であったと思う。集計・分析した結果を企画や運営に役立ててほしいと願っている。

若年層にかかわらず、ともに活動できる講座の設定も望む。

(6) 市美術展の充実を図る

平成27年度の市美展においては、市文化協会との同時開催やコンサート及び近隣施設でのイベント等による事務局の企画が、来場者の増加に繋がったように思う。さらに、4日間の開催期間であったことも影響しているものと推測できる。

それらとともに事務局の尽力が大であったと受け止められる。

今後は、出品者を増やすために種目の検討をしてみてはどうか。

(7) 歴史資料館の活性化を図る

学びの館や大柿地区歴史資料館の来場者数が昨年度に比べ増加している。具体的な方策に基づいた取組がなされた結果である。実施回数の増加や展示の工夫、さらには、県立美術館の学芸員による講座等、精力的な開催や実施によるもので

高く評価したい。

今後は、市外からの来場者を呼び込めるような方策も考えてみてはどうか。(例えば、観光振興課や他の部署、観光協会等との連携など。)

(8) 図書館の充実を図る

さまざまな取組がなされた結果、目標を達成することができている。とりわけ、「本でめぐる江田島しましまスタンプラリー」「親の力を学び合う学習プログラム」「読書預金通帳」等、アイデアに富んだ取組は来館者へは興味関心を持つものと推察される。今後も貸出冊数が増えるよう継続した活動をお願いしたい。

夏休みに帰省する家族等へ図書館の利用をPRしてみてはどうか。

総合評価について

今回、短期経営目標に基づく8事業に対して意見を付した。

教育委員会が重点的に取り組まれている施策が確実に展開されていたことを高く評価したい。

具体的には、各事業の目標を設定し、より分かりやすい方策が示されていたこと、事業の実施を着実に推進してきたこと、などである。その結果、多くの項目で目標値を上回ることができ、大きな成果が随所に表れている。これらは、教育委員会事務局の職員一人一人が前向きな姿勢で取り組んだことによるものと読み取れる。

さらに、各学校においては、校長を中心とした組織的な体制を構築し、円滑な運営が行われ、日々教職員が頑張っている姿が伝わってきた。こうしたことから、教育委員会の指導が各学校へも関係部署へも浸透していることが検証できる。

要望としては、数値目標の設定・結果のみでなく、機会があれば、その過程・経緯を関係機関や各種研修会等で話題にしてほしいと願っている。

また、先進的な取組をしているので、各部署へ積極的に情報発信してほしいと思う。今後のさらなる充実を期待する。

4 その他

(1) 教育委員会の活動状況

ア 教育委員会委員

職名	氏名	性別	備考
委員長	三島 雅司	男	元行政関係者
委員長職務代理者	樋上 美由紀	女	元教育関係者
委員	柳川 政憲	男	自営業者・保護者
委員	今井 絵里子	女	保護者
教育長	塚田 秀也	男	行政関係者

イ 教育委員会会議の開催状況

定例会 12回, 臨時会 2回

そのうち 10月19日(月) 中町小学校

1月18日(月) 大柿中学校

ウ 教育委員会会議の議決事項

番号	期日	種別	件名
1	4月1日	臨時会	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度江田島市教育委員会経営計画及び自己評価表 江田島市教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
2	4月21日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 技能労務職員の給与に関する規程の一部を改正する訓令 教育委員会の附属機関の委員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
3	5月18日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市教育関係施設使用料の減免に関する要綱の一部を改正する告示案 平成27年度全国学力・学習状況調査における結果公表 平成28年度に市立学校で使用する教科用図書の採択基本方針 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
4	6月15日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市教育委員会点検・評価報告書(平成26年度事業対象) 平成27年度江田島市一般会計補正予算 江田島教科用図書採択地区選定委員会委員及び調査員の委嘱 附属機関の委員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
5	7月21日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
6	8月17日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に中学校で使用する教科用図書の採択 平成28年度に小・中学校特別支援学級で使用する教科用図書の採択 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免

7	9月24日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市教育支援委員会規則の一部を改正する規則案 平成28年秋の叙勲候補者（教育功労）の推薦 平成27年度江田島市一般会計補正予算 死亡叙位の推薦 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員等の任免
8	10月19日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
9	11月18日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市スポーツ推進計画審議会設置要綱を制定する告示案 江田島市スポーツ推進計画審議会委員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免 附属機関の委員の委嘱
10	12月21日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市立図書館管理運営規則の一部を改正する規則案 江田島大柿公民館図書室管理運営要綱の一部を改正する告示案 平成27年度江田島市一般会計補正予算 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
11	1月18日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会の所管に属する学校の職員の任免
12	2月15日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市放課後児童クラブ管理運営規則の一部を改正する規則案 江田島市教育委員会公印規則の一部を改正する規則案 教育長の給与の特例に関する条例案 平成27年度江田島市一般会計補正予算 平成28年度江田島市一般会計予算 教育委員会の所管に属する学校の職員の任免
13	3月16日	臨時会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免
14	3月22日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部を改正する規則案 技能労務職員の給与に関する規程の一部を改正する訓令 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員等の任免

(2) 教育委員の活動

ア 研修会への出席

期日	件名	場所	出席者
4月13日	第1回広島県市町教育長会議	広島市	教育長
4月20日	広島県都市教育長会春の総会	福山市	教育長
5月14日	第1回西部教育事務所管内教育長、部・課長等会議	呉市	教育長
5月21・22日	全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会	厚木市	教育長
5月27日	広島県市町教育委員会連合会定期総会	広島市	委員長

7月3日	女性教育委員グループ総会並びに第1回研修会	広島市	委員2名
7月22日	第2回西部教育事務所管内教育長，部・課長等会議	呉市	教育長
7月23～24日	中国地区市町村教育委員会連合会研修会	倉敷市	委員長 教育長
10月7日	広島県都市教育長会秋の総会	福山市	教育長
10月22～23日	中国地区都市教育長会定期総会並びに研究協議会	倉敷市	教育長
11月12日	広島県市町教育委員会連合会教育委員研修会	広島市	委員3名
11月12～13日	市町村教育委員会研究協議会（第2ブロック）	奈良市	教育長
12月16日	第3回西部教育事務所管内教育長，部・課長等会議	広島市	教育長
1月27日	第2回広島県市町教育長会議	広島市	教育長
2月26日	女性教育委員グループ総会並びに第3回研修会	広島市	委員1名

イ 式典への出席

小中学校入学式及び卒業証書授与式における教育委員会告辞

ウ その他

各委員による学校行事をはじめ教育委員会所管施設の各種行事への参加，各種委員としての参加

平成27年度江田島市教育委員会 経営計画

I ミッション

子どもたちが夢や目標を持って学び、育ち、市民一人ひとりが、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じ輝くことは、豊かな暮らしの基盤となる。

このため、学校教育では、児童生徒の生きる力を育むことを目指し、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準の向上に努める。

また、生涯学習では、公民館活動などの社会教育をはじめ、スポーツ振興における普及・啓発活動や、文化・芸術・スポーツにおける学習機会の確保と教育環境の整備・充実により、「人が育ち、輝くまち」を目指す。

II ビジョン

- 【児童生徒像】**
- 生きる力である「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」がバランスよく育成され、その水準が向上している。
- 【学校像】**
- 組織的な学校体制のもとで、質の高い教師が育成されるとともに、学校・家庭・地域の連携を推進し、信頼される学校づくりを目指している。
- 【市民像】**
- 文化・芸術・スポーツ等の生涯学習活動において、市民一人ひとりが、生きがいを感じ、生き生きと暮らしている。
- 【教育委員会像】**
- 報告・連絡・相談による組織的な対応ができる。
 - クイックレスポンス（すばやい対応）ができる。

III 現状分析

- 【学校教育】**
- 教職員の懲戒処分については、平成26年度は発生していない。（平成25年度は、戒告1件、減給1/101月1件）
 - 広島県「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率において、平成26年度は、中学校理科（▲0.3%）、中学校英語（▲0.7%）で県平均を下回った。（平成25年度は、小学校国語（▲1.1%）、中学校英語（▲4.8%）で県平均を下回った。）
 - 生徒指導上の諸問題において、平成26年度は、暴力行為の1,000人あたりの発生件数が中学校で23.9件（平成25年度 県12.5件、本市21.1件）である。小学校は発生していない。（平成25年度県2.5件、本市1.1件）
 - 意識調査（市調査平成27年2月実施）「自分にはよいところがあります」において、肯定的回答は、小学校第5学年で83.6%、中学校第2学年で68.6%である。（平成26年度「基礎・基本」定着状況調査の県平均は小5 79.2%、中2 62.8%）
 - 体力・運動能力調査において、平成26年度は、全国平均以上の種目数の割合は67.3%である。（平成25年度は、全国平均以上の種目数の割合は64.6%）
- 【生涯学習】**
- 公民館講座の50歳未満（若年層）の割合については、平成26年度は43.7%である。（平成25年度の23.5%から大幅に向上）
 - 市美術展の平成26年度の来場者数は759人である。（平成25年度558人、平成24年度639人）
 - 学びの館及び大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の平成26年度の来場者については、学びの館6,874人（平成25年度6,284人、平成24年度5,882人、平成23年度6,859人）、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）625人（平成25年度506人、平成24年度482人、平成23年度525人）である。
 - 図書館の年間貸出冊数は、平成26年度105,629冊である。（平成25年度100,403冊、平成24年度110,220冊）

IV 目標及び取組

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	
学校教育	教職員の服務規律の厳正確保を図る。	教職員による不祥事を0（ゼロ）にする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての主催研修において、「服務規律の確保」に関する内容の講話等を行う。 ○ 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒に「いじめ」「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。 	
	児童生徒の学力の向上を図る。	基礎的・基本的な知識・技能を定着させ、思考力・判断力・表現力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力向上の研修実施とともに、広島県教育委員会の「広島版『学びの変革』アクション・プラン」に基づいた研修を実施する。 ○ 「学力向上チェックリスト」のすべての項目において、その質が向上するように、具体的に指導助言する。 ○ 学力調査の分析をもとに、学校訪問において具体的な指導助言を行う。 ○ 学力向上の成果を出している先進校を視察する。 	
	児童生徒の豊かな心を育成する。	暴力行為の発生件数を減少させる。	自己効力感を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒指導の三機能及び特別活動の充実に係る研修を実施する。 ○ 9月を「いじめ撲滅月間」とし、いじめ撲滅運動などを展開する。 ○ 教職員の生徒指導自主研究グループを組織し、研究成果を各学校へ普及する。 ○ 道徳教育（道徳の時間）の充実を図る。（挑戦加配の活用、市道徳教育推進協議会の活用） ○ 地域貢献活動の充実を図る。（ふるさと実感事業）
		児童生徒の体力の向上を図る。		体力・運動能力を向上させる。
生涯学習	公民館講座等の充実を図る。	公民館講座の若年層の利用者数割合の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての講座のアンケートを実施する。 ○ 若年層ニーズにあった講座等を実施する。 ○ 公民館まつりにおいて講座等のPRを行う。 ○ 広報等でPRし、周知を図る。 	
	市美術展の充実を図る。	市美術展の来場者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化協会作品発表会との共同開催を検討する。 ○ コンサートや特別企画を実施する。 ○ 作品ジャンルの拡大を検討する。 ○ 広報等でPRし、周知を図る。 	
	歴史資料館の活性化を図る。	学びの館、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の来場者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ ものづくり教室の充実を図る。 ○ 展示資料の相互貸出を実施する。 ○ 広報等でPRし、周知を図る。 	
	図書館の充実を図る。	図書館年間貸出冊数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2館1室合同の「スタンプラリー」を実施する。 ○ 利用案内チラシを作成し、市内各所に配布する。 ○ ミニ図書館の開催場所を検証し、変更する。 ○ 行事案内を市内小中学校に周知する。 ○ 子ども読書活動推進計画の具体的な取組を実施する。 	

平成 27 年度 自 己 評 価 表 [最 終]

江田島市教育委員会

	中期経営目標	短期経営目標	評 価 項 目	評価指標	実績値			目 標 値			評 価 (自己評価の結果)	改 善 策
					平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度		
学校教育課	教職員の服務規律の厳正確保を図る。	教職員による不祥事を 0 (ゼロ) にする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての主催研修において、「服務規律の確保」に関する内容の講話等を行う。 ○ 5 月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒に「いじめ」「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。 	懲戒処分件数	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	なし	
	児童生徒の学力の向上を図る。	基礎的・基本的な知識・技能を定着させ、思考力・判断力・表現力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力向上の研修実施とともに、広島県教育委員会の「広島版『学びの変革』アクション・プラン」に基づいた研修を実施する。 ○ 「学力向上チェックリスト」のすべての項目において、その質が向上するよう、具体的に指導助言する。 ○ 学力調査の分析をもとに、学校訪問において具体的な指導助言を行う。 ○ 学力向上の成果を出している先進校を視察する。 	広島県「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率	中 2 理科 ▲0.3 中 2 英語 ▲0.7	全ての教科で県平均を 5 ポイント以上上回る。	全ての教科で県平均を 7 ポイント以上上回る。	小 5 国 (+2.1) 算 (+1.6) 理 (+0.9) 中 2 国 (▲1.4) 数 (+0.5) 理 (▲1.5) 英 (▲1.8)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの変革」推進協議会を設置し、取組を充実させる。 ○ 小中学校各 1 校を ICT 活用の指定校とする。 ○ 市町の挑戦加配として、ICT 活用教員及び中学校英語科教員を配置する。 			
	児童生徒の豊かな心を育成する。	暴力行為の発生件数を減少させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒指導の三機能及び特別活動の充実に係る研修を実施する。 ○ 9 月を「いじめ撲滅月間」とし、いじめ撲滅運動などを展開する。 	暴力行為の 1000 人あたりの発生件数 (中学校)	23.9 件	16.0 件	11.0 件	15.4 件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒指導自主研究グループで積極的生徒指導についてさらに研究し、その成果を普及する。 			
		自己効力感を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員の生徒指導自主研究グループを組織し、研究成果を各学校へ普及する。 ○ 道徳教育 (道徳の時間) の充実を図る。(挑戦加配の活用、市道徳教育推進協議会の活用) ○ 地域貢献活動の充実を図る。(ふるさと実感事業) 	意識調査「自分にはよいところがあります」の肯定的回答割合	小 5 : 83.6% 中 2 : 68.6%	小 5 : 88% 中 2 : 74%	小 5 : 90% 中 2 : 80%	小 5 : 79.8% 中 2 : 77.1%	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全校で外部人材を活用して児童生徒を対象とした情報モラルに関するネットトラブル講演会を実施する。 			
児童生徒の体力の向上を図る。	体力・運動能力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力づくり推進リーダーを対象に各学校の課題に基づく取組について具体的な指導を行う。 ○ 体力・運動能力調査の分析をもとに、学校訪問で具体的な指導を行う。 ○ 小学校において 1 校 1 競技、中学校において部活動の活性化を図る。 ○ 江田島市体力向上推進協議会に対して、指導助言を行うなど体力向上の取組を支援する。 	体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数割合	67.3%	70.0%	73.0%	75.7%	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県立広島大学地域戦略協働プロジェクトにおける報告書を基にして、体力づくり推進リーダー等を対象とした研修を実施する。 				
生涯学習課	公民館講座等の充実を図る。	公民館講座の若年層の利用者数割合の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての講座のアンケートを実施する。 ○ 若年層ニーズにあった講座等を実施する。 ○ 公民館まつりにおいて講座等の PR を行う。 ○ 広報等で PR し、周知を図る。 	若年層利用者数割合	43.7%	48.0%	50.0%	44.0%	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各館の連携強化による情報共有を図り、若年層ニーズにあった講座を企画する。 			
	市美術展の充実を図る。	市美術展の来場者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化協会作品発表会との共同開催を検討する。 ○ コンサートや特別企画を実施する。 ○ 作品ジャンルの拡大を検討する。 ○ 広報等で PR し、周知を図る。 	来場者数	759 人	780 人	950 人	945 人	なし			
	歴史資料館の活性化を図る。	学びの館、大柿地区歴史資料館 (灘尾記念文庫) の来場者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ ものづくり教室の充実を図る。 ○ 展示資料の相互貸出を実施する。 ○ 広報等で PR し、周知を図る。 	来場者数 (学びの館) (大柿地区歴史資料館 (灘尾記念文庫))	6,874 人 625 人	7,100 人 650 人	8,500 人 700 人	8,486 人 692 人	なし			
	図書館の充実を図る。	図書館年間貸出冊数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2 館 1 室合同の「スタンプラリー」を実施する。 ○ 利用案内チラシを作成し、市内各所に配布する。 ○ ミニ図書館の開催場所を検証し、変更する。 ○ 行事案内を市内小中学校に周知する。 ○ 子ども読書活動推進計画の具体的取組を実施する。 	年間貸出冊数	105,629 冊	108,000 冊	113,000 冊	110,572 冊	なし			